



## 2025年2月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年10月1日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社オークワ

コード番号 8217 URL https://www.okuwa.net

代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）大桑 弘嗣

問合せ先責任者（役職名）取締役常務執行役員管理本部長  
兼IR室長（氏名）東川 浩三（TEL）073（425）2481

半期報告書提出予定日 2024年10月1日 配当支払開始予定日 2024年10月16日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・経済アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

## 1. 2025年2月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年2月21日～2024年8月20日）

（1）連結経営成績（累計）（%表示は、対前年中間増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期中間期	122,558	0.9	246	△65.1	313	△61.8	87	△78.2
2024年2月期中間期	121,520	0.7	706	△31.2	819	△30.5	399	△37.1

（注）包括利益 2025年2月期中間期 216百万円（△50.7%） 2024年2月期中間期 438百万円（△31.3%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年2月期中間期	2.01	2.01
2024年2月期中間期	9.10	9.10

## （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年2月期中間期	133,380	76,915	57.4
2024年2月期	132,496	78,679	59.1

（参考）自己資本 2025年2月期中間期 76,585百万円 2024年2月期 78,352百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年2月期	—	13.00	—	13.00	26.00
2025年2月期	—	13.00			
2025年2月期（予想）			—	13.00	26.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2025年2月期の連結業績予想（2024年2月21日～2025年2月20日）

（%表示は、対前期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	254,000	2.7	2,450	△15.2	2,500	△19.3	550	△45.0	12.69

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
詳細は、添付資料9ページ「(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 (中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年2月期中間期	45,237,297株	2024年2月期	45,237,297株
② 期末自己株式数	2025年2月期中間期	2,859,447株	2024年2月期	1,345,231株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2025年2月期中間期	43,329,440株	2024年2月期中間期	43,881,578株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	9

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間(2024年2月21日～2024年8月20日)におけるわが国経済は、インバウンド需要や輸出関連企業を中心とした好業績に支えられ緩やかな回復基調となりました。

一方でウクライナ情勢や中東などの地政学リスクは継続しており資源価格の高騰や急激な円安の進行などに伴い原材料費やエネルギーコストの上昇等は依然として先行き不透明な状況が続いております。

小売業界におきましても、商品の値上げによる消費者の節約志向の高まりに加え、人件費をはじめとした各種コストの増加や人手不足に伴い省力化と生産性の向上に向けた対応を余儀なくされるなど、厳しい経営環境が続いております。

このような状況下において、当社は、年度スローガンを『小さな気づきを行動に移そう みんなで変える より良い売場』とし、従業員一人ひとりが「より良いお店のために」を共通の行動目標とするとともに、多様化するお客様ニーズへの対応等、変化するライフスタイルに対応できる商品・サービスの提供に取り組んでまいりました。

また、当期は2027年2月期を最終年度とする新たな中期経営計画を開始しており、「業態の再構築」、「店舗の生産性の向上」、「オークワブランドの商品開発拡大」、「マーケティング戦略の構築」、「業務革新によるコスト削減具現化」、「人的資本価値の最大化」、「サステナビリティ経営の深耕」などへの取り組みを行っております。

当期の新規出店につきましては、「スーパーセンター知多店」(愛知県知多市)、「西大和店」(奈良県北葛城郡河合町)の2店舗をそれぞれ7月にオープンいたしました。

連結子会社については、外食の㈱オークフーズは、経済活動の正常化に伴い、外食需要の回復が収益に寄与し増収増益、農産物等の加工・配送を担う㈱サンライズは、販管費の増加により減益となりました。

以上により、当中間連結会計期間における当社グループの経営成績につきましては、営業収益(売上高及び営業収入)は1,225億58百万円(前年同期比0.9%増)、営業利益は2億46百万円(前年同期比65.1%減)、経常利益は3億13百万円(前年同期比61.8%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は87百万円(前年同期比78.2%減)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末の総資産合計は、前連結会計年度末に比べ8億83百万円増加し、1,333億80百万円となりました。流動資産では17億32百万円の減少であり、これは主に受取手形及び売掛金が15億63百万円増加した一方、現金及び預金が40億28百万円減少したことによるものであります。固定資産では26億16百万円の増加であり、これは主に有形固定資産の土地が9億89百万円、有形固定資産の「その他(純額)」に含まれる建設仮勘定が8億23百万円、建物及び構築物(純額)が6億90百万円増加したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ26億48百万円増加し、564億65百万円となりました。流動負債では45億28百万円の増加であり、これは主に支払手形及び買掛金が28億21百万円、「その他」に含まれる設備関係電子記録債務が16億25百万円増加したことによるものであります。固定負債では18億79百万円の減少であり、これは主に長期借入金17億80百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ17億64百万円減少し、769億15百万円となりました。これは主に自己株式が14億4百万円増加し、利益剰余金が4億83百万円減少したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末と比べ、40億21百万円減少し、121億61百万円となりました。

当中間連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、前年同期に比べ26億38百万円減少し、43億72百万円となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益が3億円、非資金損益項目の減価償却費が33億7百万円、仕入債務の増加額が28億21百万円であった一方、売上債権の増加額が15億63百万円、棚卸資産の増加額が2億99百万円、法人税等の支払額が2億51百万円であったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、前年同期に比べ10億87百万円減少し、39億97百万円となりました。これは主に、固定資産の取得による支出が42億21百万円であったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、43億96百万円(前年同期は2億68百万円の収入)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出が21億80百万円、リース債務の返済による支出が2億17百万円、自己株式の取得による支出が14億26百万円、配当金の支払額が5億70百万円であったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年2月期の通期の業績予想につきましては、2024年9月26日に公表いたしました業績予想からの変更はありません。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2024年2月20日)	当中間連結会計期間 (2024年8月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	16,550	12,522
受取手形及び売掛金	6,238	7,801
商品及び製品	10,085	10,384
その他	1,634	2,063
貸倒引当金	△8	△4
流動資産合計	34,500	32,767
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	46,180	46,871
土地	28,314	29,304
その他(純額)	5,988	6,988
有形固定資産合計	80,483	83,163
無形固定資産		
その他	4,094	3,988
無形固定資産合計	4,094	3,988
投資その他の資産		
その他	13,431	13,472
貸倒引当金	△12	△12
投資その他の資産合計	13,418	13,459
固定資産合計	97,996	100,612
資産合計	132,496	133,380
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,875	15,696
短期借入金	4,850	4,850
1年内返済予定の長期借入金	4,360	3,960
未払法人税等	481	435
返金負債	1,306	1,430
契約負債	2,114	2,012
その他	10,335	12,467
流動負債合計	36,323	40,851
固定負債		
長期借入金	11,614	9,834
退職給付に係る負債	72	73
資産除去債務	3,211	3,256
その他	2,595	2,450
固定負債合計	17,493	15,613
負債合計	53,816	56,465

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2024年2月20日)	当中間連結会計期間 (2024年8月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,117	14,117
資本剰余金	15,003	15,000
利益剰余金	50,372	49,888
自己株式	△1,608	△3,013
株主資本合計	77,885	75,993
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	426	530
退職給付に係る調整累計額	40	61
その他の包括利益累計額合計	467	592
新株予約権	38	38
非支配株主持分	289	290
純資産合計	78,679	76,915
負債純資産合計	132,496	133,380

## (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

## 中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年2月21日 至 2023年8月20日)	当中間連結会計期間 (自 2024年2月21日 至 2024年8月20日)
売上高	115,469	116,267
売上原価	83,532	84,498
売上総利益	31,937	31,768
営業収入		
不動産賃貸収入	1,982	1,982
その他の営業収入	4,068	4,309
営業収入合計	6,050	6,291
営業総利益	37,987	38,060
販売費及び一般管理費	37,281	37,814
営業利益	706	246
営業外収益		
持分法による投資利益	42	2
リサイクル材売却収入	33	25
受取配当金	37	39
その他	50	54
営業外収益合計	163	122
営業外費用		
支払利息	41	46
その他	9	9
営業外費用合計	51	55
経常利益	819	313
特別利益		
固定資産売却益	1	0
受取補償金	20	—
投資有価証券売却益	—	68
その他	5	—
特別利益合計	27	69
特別損失		
固定資産除却損	81	23
賃貸借契約解約損	14	52
その他	10	5
特別損失合計	106	81
税金等調整前中間純利益	740	300
法人税等	328	209
中間純利益	412	91
非支配株主に帰属する中間純利益	13	4
親会社株主に帰属する中間純利益	399	87



## 中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年2月21日 至 2023年8月20日)	当中間連結会計期間 (自 2024年2月21日 至 2024年8月20日)
中間純利益	412	91
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2	104
退職給付に係る調整額	23	20
その他の包括利益合計	26	125
中間包括利益	438	216
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	425	212
非支配株主に係る中間包括利益	13	4

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年2月21日 至 2023年8月20日)	当中間連結会計期間 (自 2024年2月21日 至 2024年8月20日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	740	300
減価償却費	3,314	3,307
受取利息及び受取配当金	△37	△41
支払利息	41	46
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△62
固定資産売却損益(△は益)	△0	△0
売上債権の増減額(△は増加)	△817	△1,563
棚卸資産の増減額(△は増加)	△407	△299
未収入金の増減額(△は増加)	1,033	222
仕入債務の増減額(△は減少)	2,541	2,821
その他	744	△105
小計	7,152	4,625
利息及び配当金の受取額	37	41
利息の支払額	△43	△42
法人税等の支払額	△136	△251
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,011	4,372
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
固定資産の取得による支出	△4,941	△4,221
固定資産の売却による収入	135	63
投資有価証券の売却による収入	—	243
貸付金の回収による収入	—	20
敷金及び保証金の差入による支出	△149	△202
敷金及び保証金の回収による収入	113	116
その他	△242	△16
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,084	△3,997
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	3,000	—
長期借入金の返済による支出	△1,803	△2,180
リース債務の返済による支出	△354	△217
配当金の支払額	△570	△570
自己株式の取得による支出	△0	△1,426
その他	△2	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	268	△4,396
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,194	△4,021
現金及び現金同等物の期首残高	15,386	16,182
現金及び現金同等物の中間期末残高	17,581	12,161

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。